

各種制度紹介

奨学金等

- 01 日本学生支援機構奨学金 (旧日本育英会奨学金)**
貸与額
1) 第1種奨学金 (無利息) (平成17年度入学者)
博士課程前期:88,000円/月 博士課程後期:122,000円/月
2) 第2種奨学金 (利息付) 月額5万円・8万円・10万円・13万円から選択
申請時期:入学後、総合研究大学院大学を通して申請。
採用実績:博士課程後期:10人 (これまで希望者全員が受給) (平成17年4月現在)
- 02 各種民間財団の奨学金**
支給・貸与額:7~10万円程度/月
注)入学後、募集のある都度、総合研究大学院大学を介して申請。
- 03 RA (リサーチアシスタント)**
指導教授の下で、特定の研究課題に取り組む学生雇用制度であり、学位研究との関連が配慮されています。
時給:博士前期課程:1,100円 (月収の目安 9万円程度)
博士後期課程:1,200円 (月収の目安10万円程度)
※月収の目安は、20時間程度/週 (週2日程度の雇用) の場合
利用状況:在学生 (社会人を除く)35人中、16人 (平成17年4月現在)
- 04 国立情報学研究所外国人留学生奨学金 (NII奨学金)**
国立情報学研究所独自の奨学金です。博士後期課程の特に優れた外国人留学生で経済的支援を要する者を対象とします。
支給額:7万円程度/月 返済義務:無し 申請時期:出願時 支給状況:私費外国人留学生16名中11名 (平成17年4月現在) その他:渡航費、学費とも援助。

学生交換プログラム

大学院博士課程の大学院生がINRIAの研究チームにおいて2~6ヶ月間インターンシップに従事するプログラムなど、NIIと覚書 (MOU) を締結している大学等との間で、インターンシッププログラムがあります。

[MOU締結先] (予定も含む)

研究協力に関するもの (33件)

- 中国/清華大学情報理工学部オートメーション学科 中国科学院 同濟大学電子情報学科 ●タイ/チュラロンコン大学 アジア工科大学 カセサート大学 NECTEC (National Electronics and Computer Technology Center, National Science and Technology Development Agency) ●ベトナム/ハノイ工科大学マルチメディア情報・応用国際研究センター (MICA) ●ハノイ工科大学 ベトナム国立大学 (ホーチミン) ●ハンガリー/デューク大学 ●オーストラリア/オーストラリア大学オーストラリア日本研究センター ●米国/ミシガン大学計算機・情報科学科 ワシントン大学 (シアトル) 工学部 TransPAC2プロジェクト及びインディアナ大学 ノースカロライナ大学シャロット校情報科学科 メリーランド大学コンピュータ科学科 ニュージャージー工科大学 ●カナダ/ウオータールー大学計算科学科 ●フランス/ナント大学ナント大西洋計算機科学研究所 (LINA) 国立計算機科学・自動制御研究所 (INRIA) グルノーブル国立理工科大学 (INPG) グルノーブル第1 (ジョゼフ・フーリエ) 大学 パリ第6大学コンピュータ科学科 (LIP6) トゥールーズ国立理工学校 ボーカール (ドゥエ) 大学 (トゥールーズIII) ●イギリス/ロンドン・ユニバーシティカレッジ工学部計算機科学科 オープンユニバーシティ数学・計算機科学部 ハース大学 ●ドイツ/フランクフルト大学応用情報学部 ドイツ人工知能研究センター (DFKI) ●イタリア/トリノ大学 ●チェコ/チェコ工科大学

事業協力に関するもの (6件)

- 米国/北米日本研究資料調整委員会 トムソンISI ARL (Association of Research Libraries)
- ドイツ/ルートライン・ヴェストファーレン州大学図書館センター (HBZ) ●韓国/韓国教育学術情報院 (KERIS)
- 欧州/DANTE (Delivery of Advanced Network Technology to Europe)

福利厚生・キャンパス周辺の環境

本学のキャンパスは皇居を望む東京・千代田区の国立情報学研究所内にあり、抜群のアクセスと充実した研究環境を備えています。



出願期間

5年一貫制博士課程 (学部卒対象) / 博士後期課程 (修士卒相当対象)

願書受付期間

2006年 10月入学	2006年7月28日 (金) ~ 2006年8月3日 (木)
2007年 4月入学 (第1回)	2006年7月28日 (金) ~ 2006年8月3日 (木)
2007年 4月入学 (第2回)	2006年12月15日 (金) ~ 2006年12月21日 (木)

出願手続きを行う前に、出願資格の審査が必要な方につきましては、下記の期間内に手続きをしてください。

出願資格認定審査のための書類提出期間

2006年 10月入学	2006年7月3日 (月) ~ 2006年7月6日 (木)
2007年 4月入学 (第1回)	2006年7月3日 (月) ~ 2006年7月6日 (木)
2007年 4月入学 (第2回)	2006年12月4日 (月) ~ 2006年12月7日 (木)

出願手続きについて詳しくはホームページ

<http://www.nii.ac.jp/graduate/index.html> または、学生募集要項でご確認ください。

総研大千代田キャンパスへのアクセス

地下鉄神保町駅、竹橋駅より徒歩3分



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所
National Institute of Informatics



〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内 TEL 03 (4212) 2000 (代表)

大学院に関するお問い合わせ

研究協力課 大学院係 TEL 03 (4212) 2110 E-mail: daigakuin@nii.ac.jp

<http://www.nii.ac.jp/graduate/index.html>

(2006.7)

情報学専攻

5年一貫制博士課程/博士後期課程

大学院案内

2006-2007

Achieving Excellence In Informatics



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立情報学研究所

<http://www.nii.ac.jp/graduate/index.html>

研究環境

オンラインジャーナル・データベースの利用

学生はキャンパス内から、大手出版社の多数のオンラインジャーナル・データベース等を無料で使うことができます。

利用可能なオンラインジャーナル・データベース: ScienceDirect、SCOPUS (Elsevier)、SpringerLINK (Springer)、ACM Digital Library (ACM)、MathSciNet (AMS)、ASPP (IEEE)、e-Proceedings (IEEE CS)、COMSOC DL (IEEE Communications Society)、Wiley InterScience (Wiley)、CUP online (Cambridge Univ. Press)、OUP online、Oxford English Dictionary online、(Oxford Univ. Press) (H18.5現在)

ネットワーク環境

国立情報学研究所は日本全国の大学、研究機関等を接続する学術情報ネットワーク (SINET) を構築・運用しており、学生はキャンパス内で、高速インターネットを利用することができます。また、無線LAN環境も整備されています。

Informatics changes the world.

情報学が世界を変える。



国立情報学研究所長 坂内 正夫

「情報学」は、21世紀社会に一層大きく発展すると期待されている学術分野です。従来の情報科学・情報工学を基盤としつつ、人文・社会情報学などを包含した情報に関する新しい総合的学問分野でもあります。「国立情報学研究所」の中に設置されている情報学専攻は、最先端の情報学の素養を身に付け、広い視野、柔軟な思考力と高度な専門知識を持つ研究者、および情報学に関する国際的・学際的なプロフェッショナルな企業人を養成することを目的としています。「国立情報学研究所」はわが国唯一の情報学の学術総合研究所であり、わが国の情報学の核研究所として、大学等との共同研究活動の拠点と位置付けられています。また学術情報流通の先端的基盤提供事業も展開しており、研究と事業の両輪で運用されているところに大きな特徴があります。情報学専攻のカリキュラムは、情報学に関する基本概念、基礎理論、基盤科学・技術から、次世代型情報インフラ、高度情報システムや情報コンテンツの設計・開発・管理に必要な情報システム科学や社会情報科学等の様々な課題から成っており、学生がそれらのテーマについて、体系的・総合的に学習・研究できる体制を整えています。私たちが求める学生像は明確です。高度情報社会の実現に向け、自然科学から人文社会科学を幅広く横断した学際領域である情報学に関して強い興味を持ち、情報学の分野でリーダーとして活躍する研究者や、社会に役立つ情報技術を開発する高度な企業人となる素質を有している学生、あるいは企業等に在職のまま、広い視野と深い専門知識を獲得しようという意志を持つ社会人の方々です。意欲に満ちた人が一人でも多く情報学専攻に入学され、新たな挑戦を試みられることを私たちは期待しています。情報学の進化と深化が、これからの世界を変えていくと私たちは確信しています。

Our Research

研究紹介

「情報学」は、計算機科学や情報工学だけでなく、人文・社会科学や生命科学の領域も包含する新しい学問分野です。国立情報学研究所では、4研究系、5研究施設（センター）、研究開発連携本部及び連携研究部門を設置し、未来価値を創成する情報学研究、社会・公共貢献、融合の情報処理、産学官民の連携、国際的な研究・事業活動を指向した情報学研究を進めています。

情報学プリンシプル研究系 Principles of Informatics Research Division

■主な研究テーマ

- ゲノムとバイオインフォマティクス
- インターネットニュース
- 脳磁界逆問題
- 論理的意味論
- 量子情報・計算
- 安全性概念の研究
- アニメーションの機械学習
- ロボット知能
- 知識更新に関する研究
- 技術倫理の研究
- 型理論
- 法的推論
- 知識共有システム

アーキテクチャ科学研究系 Information Systems Architecture Research Division

■主な研究テーマ

- ユビキタスコンピューティング
- グリッドコンピューティング
- ホトニックネットワークアーキテクチャ
- 次世代オペレーティングシステム
- モバイルエージェントの研究
- インターネットラフィック
- XML問合わせ言語処理
- コンテキストウェア
- 品質保証の研究
- プライバシー保護技術
- ネットワークオンチップ
- 非同期式回路のFPGA

コンテンツ科学研究系 Digital Content and Media Sciences Research Division

■主な研究テーマ

- 放送映像アーカイブ
- 地球環境情報処理
- 並列連想計算方式の研究
- テキスト情報の同定とリンクの抽出
- 不均質コンテンツ
- テキストマイニング
- 多言語セマンティック管理
- ヒューマンエージェントインタラクション
- 映像コーパス解析
- 気象情報学
- 物理ベースビジョン
- 行動計測技術
- 映像の知的構造化
- 生涯学習支援
- セマンティックWeb
- マルチモダール

情報社会相関研究系 Information and Society Research Division

■主な研究テーマ

- 遠隔教育システム
- マルチファセットメタデータ
- コミュニケーション身体協働
- 総合目録データベース
- 研究評価計量的研究
- ネットワーク構造分析
- インテリジェンス・コミュニティ
- 法・制度・政策研究
- 情報ライフサイクル管理
- 知的な共同作業
- Eコマース
- 協調学習
- 類似検索
- テキストコーパス
- 情報制度論
- 電子商取引
- 社会制度

The Faculty

教員一覧

情報学プリンシプル研究系	宇野 毅明 河原林 健一 速水 謙 金沢 誠 龍田 真 照井 一成 根本 香絵 松本 啓史 ※ 山本 喜久 渡辺 曜大	佐藤 寛子 藤山 秋佐夫 市瀬 龍太郎 稲邑 哲也 井上 克巳 上野 晴樹 ナイジェル コリアー 佐藤 健 武田 英明
アーキテクチャ科学研究系	※ 浅野 正一郎 阿部 俊二 福田 健介 漆谷 重雄 上岡 英史 計 宇生 ※ 松方 純 山田 茂樹 鯉淵 道紘 橋爪 宏達	松本 尚 三浦 謙一 佐藤 一郎 日高 宗一郎 丸山 勝巳 中島 震 細部 博史 ※ 本位田 真一 米田 友洋 鷲崎 弘宜
コンテンツ科学研究系	加藤 弘之 高須 淳宏 ※ 高野 明彦 相澤 彰子 ※ 安達 淳 江口 浩二 大山 敬三 片山 紀生 北本 朝展 児玉 和也	佐藤 いまり 佐藤 真一 杉本 晃宏 孟 洋 相原 健郎 フレデリック アンドレス 井上 雅史 大向 一輝 ヘルムート プレンディンガー 山田 誠二
情報社会相関研究系	新井 紀子 植木 浩一郎 神門 典子 後藤田 洋伸 ※ 小山 照夫 古山 宣洋 宮澤 彰 ※ 柴山 盛生 ※ 孫 媛	西澤 正己 根岸 正光 上田 昌史 岡田 仁志 ※ 北岡 元 古賀 崇 曾根原 登 東倉 洋一
グローバル・リエゾンオフィス	アンリ アンジェリーノ	※ 情報学専攻の担当教員ではありませんが、アドバイザーとして指導を受けることができます。

各教員のテーマについては下記URLにて紹介しております。

<http://www.nii.ac.jp/research/theme-j.shtml>